

TES会中部支部 第123回クレーム事例勉強会

検討年月日	2017/8/18	Cグループ						
品名(品番)(写真)	上部パイピング仕様ニット黒無地&スカート部ベージュ×黒のボーダーワンピース							
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601
	cotton 100%		104	202	302	402	502	602
	105			303	403		603	
	106			304			604	
	107							
	ネット				あて布			
	無蛍光 中性					国内用絵表示なし	30℃マイルド洗濯	
申し出クレーム内容	パイピングとスカートボーダー柄の淡色部分に色が移った							
クリーニング処理法	石油系ドライクリーニング							
グループ検討内容	<p>①表示内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[組成] 上部の無地は風合いや光沢から、綿100%でなく、合繊素材と思われる。パイピング及び下部ボーダー地は綿100%で正しいと思われる ・[取扱い表示] 国内用表示はないが、表示記号を当てはめれば、40℃水洗い可、酸素系漂白剤可、低温アイロン可、石油系ドライ可となる→綿100%で低温アイロンは不適切 <p>②色移りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無地素材は合繊、おそらくポリエステルと思われることから、染色には分散染料が使われていると思われる ・パイピングへの色移りは、無地素材からの色泣きまたは染液汚染と思われる ・スカート部への色移りは、汚染箇所が斑にある、裏面の方が濃く汚染されていることから、脱液時に上部の無地部と重なって処理された箇所に脱液を通して移染したものである <p>③結論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無地素材の堅牢度不良が原因と思われる。パイピング不足などがその要因として考 							
検査機関検討内容	<p>1、パイピング</p> <p>身生地からのブリードが想定される。 身生地のドライ(石油)で染色堅牢度を確認。 大丸法(石油溶剤)でもブリードを確認。</p> <p>2、ボーダー部</p> <p>カラフルな色相は、裏側が濃いので、裏側からの汚染と想定。 縫込みネームと黒ボーダーのドライ(石油)堅牢度、ブリードを確認。 その結果により、カラフルな汚染は、別の要因もありうる。</p>							